

(様式2(1))

事業所名:オアシス尼崎立花

## 目標達成計画

作成日: 令和5 年 8月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	毎朝、福祉事業5訓と事業所のキャッチフレーズを出勤者全員で復唱をしているが、毎朝、読まされている感があり、全職員が、その言葉の意味を理解し、意識をすることが望まれる。	福祉事業5訓、キャッチフレーズを何故、毎朝 復唱しているのか？職員全員がその意味を、答えられるようにする。	朝礼時 管理者から、福祉事業5訓、キャッチフレーズの言葉の意味、なぜ毎朝 復唱させているのか？伝えていく。	1ヶ月
2	5	身体拘束排除の為の取組みに関する研修を、各自で動画視聴をし、報告書を上げてもらっているが、動画研修では、理解度が浅い。	各自動画を視聴し、報告書の提出を受けたとき、動画を見てどうだったか？本人に聞く。それに合わせて、管理者が内容のフィードバックを行い、より内容を深める。	安全確保について(拘束をしないケア)、すぐに決める必要がある事項は、朝礼時、その日の出勤者と短時間で話し合い、決めている。全職員に伝わりやすいように、管理者が支援経過に情報をおろして、記載しておく。	3ヶ月
3	26	介護計画、居宅サービス計画書、アセスメント、記録物について、作成日の記載、見直し、ニーズの把握、体制作りが弱い。	モニタリング継続させながら、タイムリーに作成日を更新、見直しも都度行っていく。居宅介護計画書作成にあたり、担当者会議の意見を反映させる。	ケアマネジャーに書類の更新、ニーズに基づいた計画を作成させる。担当者会議で出た、意見も反映させる。個別介護計画書は、介護職員を中心に作成していく。	6ヶ月
4	17	消防訓練を年2回 実施しているが、当日参加できなかった職員への 訓練の内容を口頭では伝えにくい。	全職員が参加する事を目指す。	もともとの年間行事として、消防訓練は組んでいるので、基本 全員が参加し、やむを得ず欠席する場合は、管理者に休む理由を伝え、承諾を得てもらう。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。